

一級河川北上川水系 大沢川 上大沢ダムの効果(令和6年7月8日)【速報】

宮城県

○上大沢ダムでは、令和6年7月8日の大雨により、**流域平均の累計雨量が153mm、最大時間雨量では27mm**を記録しました。これによるダムへの最大流入量は、計画70m³/sに対し、**6.45m³/s**を記録し、これは計画の**9.2%**に相当する量です。

○今回の洪水調節により**最大流入時の67.0%(4.32m³/s)**を貯留し、下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



上大沢ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	8日 0時 10分	終了	8日 2時 40分
・ダム流域累計雨量	153 mm	(7日 2時 ~ 8日 15時)
・最大時間雨量	27 mm	(7日 23時 ~ 7日 24時)
・ダムへの最大流入量	6.45 m ³ /s	(8日 1時 0分)
・最大流入時の放流量	0.12 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	4.32 m ³ /s	(約 67.0 %)

ダムの状況写真



貯水位 311.98m

(洪水前 7月3日11時30分)

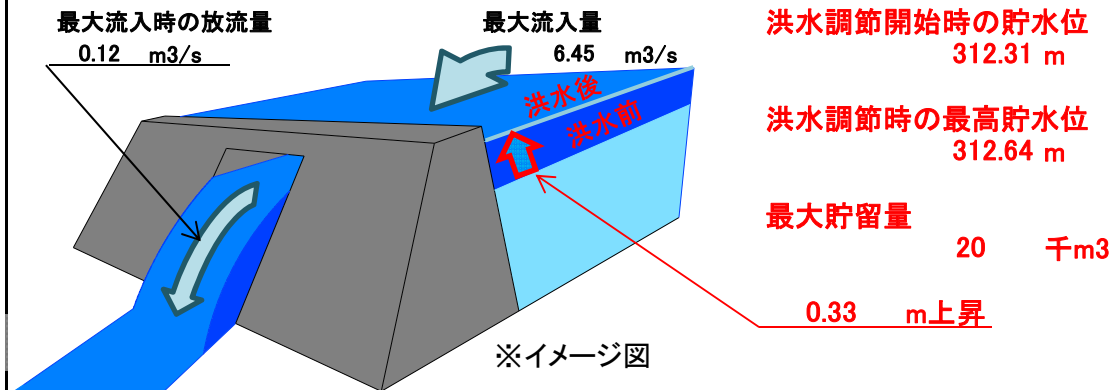


貯水位 312.40m

(洪水後 7月8日10時30分)

上大沢ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の **67.0%** をダムに貯留しました。



一級河川北上川水系 大沢川 上大沢ダムの効果(令和6年7月8日)【速報】

宮城県

○ダム下流の大沢川では、橋元基準点においてダムの効果について検証しております。

○今回の洪水調節等により、この橋元地点で、**水位を最大0.04m低減させる効果**があったものと推測されます。仮にダムが整備されていなかった場合、橋元地点での河川水位は264.08mと推測され、ダムの効果により河川が氾濫する危険が軽減されました。

下流河川の状況写真

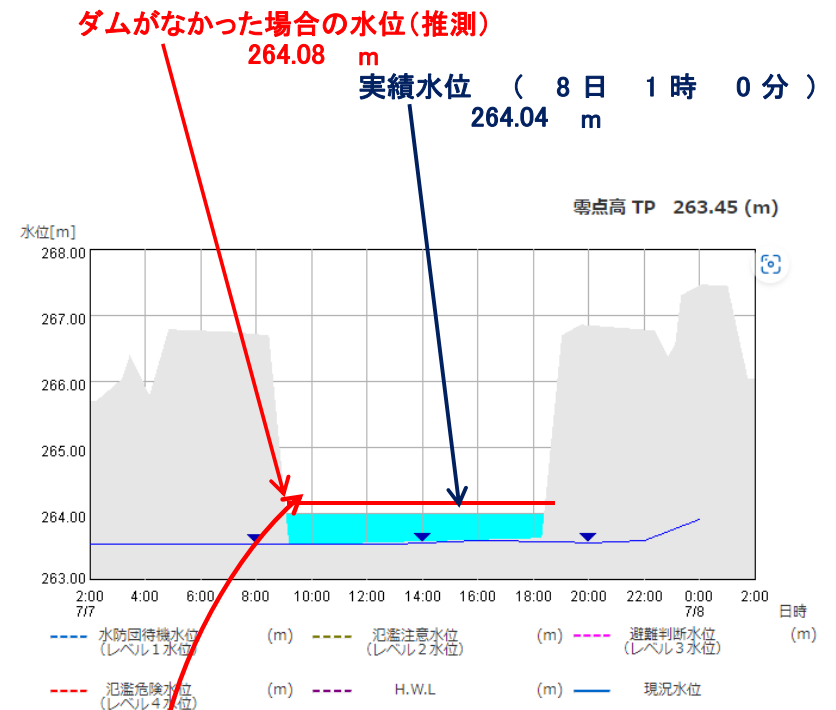


水位 339.52m 流量 0.296m³/s
橋元水位観測所(洪水前 7月3日 14時00分)



水位 263.81m 流量 15.925m³/s
橋元水位観測所(洪水後 7月8日 10時30分)

大沢川(橋元地点)の水位低減効果



ダムにより約0.04mの
水位低減効果を推測